

「延世大学校スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学経済学部 1年 吉田 彩花

私は今回の韓国留学で初めて海外に行きました。3週間も海外で暮らすという経験が全くなかったので、適応できるかとても不安でした。また、留学する3月頭には韓国で独立記念日の祭典行事やデモ行進が行われており日本の外務省が韓国へ渡航する際に危害を加えられないように注意喚起をしている時期でもありました。私も韓国へ出発する前に両親から心配の電話を受け、すこし留学に対してネガティブに考えたりしました。

しかし、その考えは留学1日目にして杞憂だったとわかりました。1日目は明洞という外国人がショッピングをする街に行きました。そこで換金したり韓国用SIMカードを購入したのですが、韓国人の店員さんは無愛想ながらも決して日本人に対して攻撃的ではありませんでした。中には知ってる日本語で話しかけてくれる人もいて韓国人は日本に対して良い意味で興味があるのだなと実感しました。

延世大学校語学堂では、テストを最初に受けて自分のレベルにあったクラスに所属して毎日授業を受けました。クラスには中国、日本、インドネシア、フランス、オーストラリアなど様々な国の人が韓国語を勉強しに来ていました。授業後にはクラスメイトとご飯を食べたり、遊園地に遊びに行ったりして楽しい時間を過ごしました、コミュニケーションとして使われるのはすべて韓国語で、お互い伝えられない言葉があると翻訳アプリを使って説明しました。留学生の中には日本のアニメや漫画について日本人の私よりも詳しい人がたくさんいました。もう少し日本のアニメ、ドラマ、漫画について親しんでおけば良かったなと残念に思いました。また韓国に来る留学生の多くはKpopスターに憧れて韓国語の勉強を始めたといっていました。私自身も同じ理由です。Kpopの流行が世界中の人の交流のきっかけにもなり得るのだなと感じました。

韓国語での会話を上達させる上でとても効果があったと感じるのが言語交換プログラムです。韓国の学生チューターさんと1対1で2時間程度会話をしながら、韓国語と日本語を教え合いました。私のチューターさんはもともと日本語を勉強したことがない人でしたが、日本語の参考書をわざわざ買って勉強を始めていて、日本に関心を持ってくださったのがうれしかったです。主に韓国語で会話をして伝えるのが難しい単語もなんとなく伝えることができた（むしろ相手がニュアンスでくみ取ってくれた）ので達成感を感じられました。

今回の韓国への留学で、韓国の生活や文化、料理などについて知ることができました。また語学堂の留学生と交流するうちに、様々な国の人と交流するには英語を用いるのが一番効率的だなと感じました。今後は英語圏の大学へも留学したいと考えています。